



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第31回例会(2月27日)
平成27年3月6日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 長澤 茂
幹事 橋山 桂
会報 古山 明廣
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Light Up Rotary. 「ロータリーに輝きを」…………… ゲイリー C. K. ホアン

ゲスト卓話



「3000 年紀に生きる
～シンボルは「矢」から「星座」へ～」

岩手県ユネスコ協会連盟顧問
安藤 厚様

スピーカー紹介

昭和9年・仙台出身 小学校(国民学校)5年から北上で育つ(この年の8月敗戦)。東北大学文学部西洋史学科卒 高校教師(世界史)として勤務の後、県教委県立学校課長、盛岡二高、盛岡一高校長を務める。富士大学教授・県立産業短大校長・県教育委員長・県ユネスコ協会連盟会長・県国際交流協会理事長等歴任。平成20年 県勢功労者表彰 瑞宝小授賞受賞。

1. はじめに

2015年の現実…多くの人命が危機にあり、また失われている
過激派組織「イスラム国」(IS)によるもの
ウクライナ情勢 etc.

2. 3000 年紀のシンボルは何か

…「矢」から「星座」へ

「3000年紀への挑戦」をテーマにパレンシア(スペイン)でシンポジウムが開催(1997年)
趣旨…それまでの2000年とどう違うのか、また自分たちは何を考えるべきか。

3. 出席者と議論

フェデリコ・マイヨール(国連ユネスコ事務局長)、ウンベルト・エーコ(イタリアの思想家)、バシリウー(キプロスの大統領)ほか6か国の元首相、閣僚経験者、ユネスコ、世界銀行、欧州議会の代表など著名人が参加した。

アジアからはインド、韓国、から参加。日本からは服部英二氏(元国連ユネスコ広報部長)が出席し講演している。

基調演説でウンベルト・エーコは「過去2000年は、ユダヤ教、キリスト教的・一神教に基づき、一直線に突き進み、そこから『進歩』という観念が生まれた。いわば『矢』(飛ぶ矢)がシンボルだった。これからの3000年紀のシンボルは『星座』であらねばならない。そこでは多文化共生が尊重される。」と述べた。

ポルトガルの元首相マリア・ピントルゴは、基調講演の「飛ぶ矢」に言及して、「歴史はもはや矢ではない。複雑系の科学はもはや専門家が専門の中に閉じこもることを許さず、他分野介入の必要性を示している。トランス・デシプリナリーなアプローチが必要である。」と述べた後、「現代の三大問題、人口、貧困、環境に対処するには市場原理を根本的に見直さなければならない。毎日、この地上を一兆ドルものお金が何らコントロールなしに動いている。市場原理は人類に対する、構造化された不正である。」と断じた。

アメリカ・プリンストン大学のリチャード・フォークをはじめ多くの人たちが指摘したのは「民主主義の危機」であった。新興国のそれではなく、すでに民主主義を成し遂げたはずの国における危機である。西欧における価値観の危機を意味し、それは責任なき個人主義がついにエゴイズムに帰着した結果に他ならないというのである。

カナダの宇宙学者のユベール・リーブスは「各国の選挙制度は次の選挙までのことしか考えない人間を選出しており、そのような人間が集まった政府は目先のことしか考えられない。」と述べた。

また、人類がますます画一化されて行くことを憂慮し、ついには一つの言語、一種類の統合人間、アメリカ主導の社会になってしまう危機があるとの警告も出された。世界の画一化に対

する反発が会議参加者のものならず、聴衆の反応からもはっきりと読み取れたと服部氏は述べている。

4. シンポジウムの意義

元国家元首、首相を含む参加者が一致して市場原理の根本的見直しを訴え、人権宣言ならぬ「人間の義務宣言」樹立への合意に動いたことである。フランス革命の標語「自由、平等、博愛」のうち、「自由」を推し進めたのが資本主義、「平等」を推し進めたのが社会主義であるとする、社会主義が崩壊した今、私達が思いを致すべきは第三の道「博愛」ではないか。バレンシアではこれが「compassion」という語で語られた。「コンパッション」とは「痛みの分かち合い」、「慈愛の心」、「多様性尊重の心」であり「寛容」に繋がる。コンパッションが語られ、参加者の共通理解になったことが、一番の収穫であった

と総括されている。

5. おわりに…宇宙船地球号の倫理綱領

第二次世界大戦の戦禍を踏まえて誕生したUNESCO 憲章の前文は「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」とその崇高な理念を宣言しています。

そのユネスコの前身は、国際連盟の知的協力委員会であり、それを立ち上げ活性化させたのは盛岡出身の新渡戸稲造博士であった。また宮澤賢治は「農民芸術概論綱要」の序論の中で「世界がぜんたい幸福にならなければ個人の幸福はあり得ない 自我の意識は個人から集団社会宇宙と次第に進化する」と宇宙船地球号乗組員の倫理綱領を提示している。

「自然は曲線をつくる。人間は直線をつくる。」

例会報告

第31回例会 平成27年2月27日(金)

於 川徳

12時30分 開会点鐘

・司会 長澤 茂会長

・ソング 手に手つないで

・ビジター 村田和士さん(盛岡西北RC)・酒井啓充さん(盛岡西北RC)

・ゲスト 安藤 厚様(元岩手県教育委員会 委員長)

- ・会長報告 長澤 茂会長
- ・幹事報告 吉江信博副幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡滝ノ沢R.C.=3月12日(木)は、地区大会実行委員会のため11日(水)19:00~山口クリニック。

【ニコニコBOX】

- ◆盛田洋太郎君…安藤君ご苦勞様でした。安藤君は高校の同級生です。今でも月に一度飲んです。
- ◆長澤 茂君…受傷後、40日になり

大隈(おおぐま)が小隈(こぐま)になったのでニコニコしたいと思います。

- ◆勝部民男君…安藤先生ありがとうございました。「ローマ法皇の危惧」「矢から星座へ」「博愛」など深い洞察に裏付けられたお話しに感銘を受けました。

- メイクアップ
地区=藤村(文)・長谷川・岩野・海野君。盛岡北=吉田(幸)君。盛岡西北=吉原君。クラブ委員会=平野・吉田(育)君。

出席報告

会員数 /73名

出席数 /37名

出席率 /54.41%

前々回修正出席率 /73.53%

プログラムの
お知らせ

- ・3月6日(金) ゲスト卓話 井上和則様(盛岡少年鑑別所 所長)「少年鑑別法について」

13日(金) 環境保全ポスター表彰式

20日(金) ゲスト卓話 畠山節子様(NPO 法人 ポランの広場 盛岡地区父母会会長)「ポランの広場活動報告」

27日(金) ゲスト卓話 中村光紀様(萬鉄五郎記念館 館長)

●本号編集担当 / 佐藤 重昭

●次号編集担当 / 熊谷 祐三